



ナップのサイン事業部には2台の働者がいます。1台目はカット能力に長けており、アルミ複合版・アクリル板・段ボール・カルパ・パネルなどの素材を切ることができる「コングスバーク」。カットデータは1mmもずれることがなく、寸法通り正確にカットしてくれます。

看板・箱・切り文字を製作する際には、欠かせない機械

わが社の働き者

です。

この機械を導入する前の切り文字は、印刷した線に沿って手切りで切っていたそうです。職人の技術も要求され、かなりの時間も使っていた大変な作業でした。ですが、この機械が導入されることにより、時間短縮・商品の美しさと正確さがより確かなものになりました。

2台目は、横断幕・パネル・看板を製作する際には欠かせない「ラテックスプリンター」。

粘着紙・ポスター紙・クロス生地などへのプリントが可能で、様々な商品に対応できます。

以前使っていた溶剤系プリンターは出力した素材を乾かすという工程があり、急ぎのお客様への対応が難しい場面がいくつかありました。

その点、ラテックスプリンターは、インクを乾かすため



の機能が備わっているため、急ぎのお客様にも出来る限り可能な範囲で対応させていただいております。

以上の2台がサイン事業部で活躍しているわけですが、1つ目に紹介させていただいた「コングスバーク」は、九州でも数台しか導入されて

いません。この貴重な素材をフルに活用し、ナップでしかできない、たくさんのお客様の「伝えたい」をカタチにしていきたいと思えます。(由

田)

ほぼ月刊 んだもしたん
(諸県弁の「まあどうした事でしょう」)
 N. danmoshifan

発行 有限会社ナップ
 編集責任 中田 等
 発行日 平成二十九年三月
 問合せ先 〇九八五五二七四〇九

ランチ野郎 見参!

「夜の名前と昼の名前が違うお店って何なの?」の巻

宮崎市内で3店舗あるホルモン店の『いちりゅう』さんに行ってきました。

夜のメニューは人気ナンバーワンの(ヤミツキ塩ホルモン)など、美味しいお肉をリーズナブルに食べる事が出来るお店として有名ですが、その3店の中で、大塚店は、お昼の11時から14時まで名前が「けんちゃん食堂」が変わって旨い肉をガッツリ食べる事が出来るお店になります。

場所は、高松橋から大塚台団地に向かう道で「鮮ど市場大塚店」の手前に「宮崎太陽銀行大塚支店」があるので、道路をはさんで反対側にあります。

メニューは、(母ちゃんのカツレツ)、(レモンバターピフテキ)、(王様のトンテキ)の3種類で、それぞれにお味噌汁とご飯(ご飯は2杯目からはセルフサービス)が付きます。



席に着くと、飲み物はお冷、お茶、炭酸のどれにしますか? との事。迷わず、炭酸を選びました。

今回は、レモンバターピフテキの300グラムと王様のトンテキのダブルを注文する事にしました。

レモンバターピフテキは、焼き方とカットをやるかしないかを選ぶ事が出来るので、焼き方はレアで、カットまでお願いすることにしました。そして、来た物が次の写真になります。

写真では、小さく見えるかもしれませんが、両方とも



かなりのボリュームがあります。

トンテキには味が付いていますが、ピフテキにはレモンバターと黒胡椒のみが掛けてあり、自分で付けをするのですが、色々な種類のタレがありますので、少しずつ試してみるのも良いかもしれません。



二人でシェアして食べましたが、自分としてはピフテキも旨かったのですが、トンテキがとても美味しくて、ご飯をおかわりしてしまいました。(大)



バイオハザード ザ・ファイナル

バイオシリーズ最終章と書いていよいよ終わっちゃうのね、今まで全シリーズ見てきたからそりゃ見に行くしかないわなということで、セントラルシネマに行ってきました。

もちろんキャラメルポップコーンを買うのも定番になっておりますが、何か？

この映画はゲームの『バイオオハザード』を原案とした、サバイバルアクションホラー映画なんですけど、このシリーズの中で一番ドキドキしました。もうね、いつゾンビがでてくるかわからないし、要はお化け屋敷状態なんですけど、ずっと肩に力が入ってしまって終わった後はどっと疲れましたが、これ3Dもあるみたいですが、前作3Dを見て、頭がグラグラしてしまい2Dに。3Dで見たら声が出るかもしれない！



（光）

とでしたが、ネタバレになっってしまうので詳しく書けませんが、あれれ？ って感じでした。これもびっくりします。

この映画、初公開が2002年ですよ、あれから15年たったのに、主人公のミラ・ジョヴォヴィッチのアクションがすげーです！ 今41歳みたいですね。さすがに初公開の時のような若々しさはないけど、大人の貫禄があります。スタイルが良すぎですね、40代であの体型を維持するのは大変だろうなと思いますね。うんうん。

んー映画の印象としては… オジィーしか残らなかったな。ストーリーは楽しかったけど、思った通りの展開みないな。この映画、本当にファイナルなのかなあ…

いんちきクライマーが行く！ 「ボク落ちました 花切山①」編

「あっ」。思った時には、もう宙に浮いていた。足を注視しつつ、猛スピードで山を下っていた矢先の事。それまで見ていた地面が、一転。空へ延びる杉の梢と、その隙間に広がる青空に瞬時に変わった。「やっちゃった」と思う間もなく、背中から落下していく感覚。両手はむなしく虚空をつかみ、接地の衝撃へ備えて体中の筋肉が固く収縮していく。空中姿勢のコントロールなんて、とてもできやしない。ドスン！と、急斜面に背中から落ち、そのまますべり落ちていく。急斜面の植林地をスーッと落ちていく中、なんとかうつぶせに身体を回し、草つきにかじりつくようになり、やっど止まった。

…しばらくは虚脱状態。現状が飲み込めない。何が起きた？ …ああ、落ちたんだ…。と上を見上げると、十五メートルほどの場所に、登山道が確認できた。下を見ると、

星が飛んだ。やっちゃったか？折れてる？ 斜面にしがみついたこの状態では、調べようもない。なんとかズリ上がって、元の登山道までとにかく登る事が先決。両手と右足の三点保持で、時間をかけて少しずつ身体を持ち上げていく。誰もいない山中の斜面を、芋虫のように這う自分を俯瞰しつつ、ようやく登山道へと戻る事ができた。時計を見ると十五時半。山頂を降りたのが十四時を過ぎたあたりで、十分も下らないうちに落ちたから、一時間以上、芋虫だった訳だ。座り込んだまま左足を解き、登山靴を脱ぐ。激痛！うぐぐ！ 足の指、動く。グーチョキパー、できる。足の甲を手前に引く。少し痛いけど足首が動かせた。足の甲を押して伸ばす、うぐぐ激痛。星が飛んだ。一定方向には足首が動くという事は、たぶん折れてない。と、根拠はないがポジティブに自己診断。自力で下りる。登山口に停めてある車までいけばいいのだ。幸いストックがあるので、松葉づえ代わりにして歩けばなんとかなる。ようは根性出せばいい。脳みそ筋肉の体育会系の自分にはびったりじゃあないか。そして苦悶の下山行がはじまった。つづく

（賢）

編集後記

まだまだ寒さが厳しいですね！ 先々週、福岡へ研修に行きましたが大雪で大変でした、一山超える事に風景が変わる。地形の変化はこんなにも私たちの生活に影響を与えるんだと思い、宮崎に住んで良かったと思えました。さて、昨年末に編集長の「誠」が定年退職し、他社員1名も新天地を求めて同時に旅立って行きました。残った人材で不安もありましたが、お互い社員が守備範囲を広くすることで仕事の影響は少ないように思えます。若い人材の成長は早く、サッサと私たちの技術を追い越してゆきます。ベテラン社員も負けじと自分の領域を深くしてついで来いと叱咤します。昨年末までの様なお互いの仕事に干渉しないスタイルからすると、最近社員が強くなり頼もしくも思えてきました。無駄な経験はひとつもない！ 素直に現実を受け止め前向きに戦い、挑戦する事が大事だ！ そんな気持ちで、今年の「んだもしたん新聞」は社員みんなで頑張り2カ月に一度の発行を予定しております、ご期待ください。（等）